

掛合自治振興会便り & 交流センター便り

平成23年 第14号



5月号

がんばろう日本！ がんばろう地域！ One For All, All For One
一人はみんなの為に、みんなは一人の為に

※ ラグビーの合言葉。「一人はみんなの為に、みんなは勝利の為に」の訳が元とか



「うさぎとかめ」でグー・チョキ・パー

「ふるさと交流塾」開校

五月十七日（火）第一回ふるさと交流塾（福祉部・生涯学習部共催）を開催しました。

音楽療法士の妹尾明香先生をお迎えして誰もが知っている童謡や懐かしい歌謡曲、唱歌まで幅広い歌や音楽に合わせて手や足を動かしたり、ボールを使ったり、ゲーム的な感覚で時間の経つのも忘れ楽しむ事ができました。



♪トントントンカラリと隣組♪



トロンボーンに合わせて「ああ上野駅」

先生は「音楽は心も体も豊かしてくれ、笑う事はとても良い事」と言われ、参加された方は「久しぶりに歌って楽しかった」「私の若い頃の曲ばかりで懐かしかった」とおっしゃっていました。
初めての試みでしたが、笑いの絶えない楽しい時間を過ごしました。

力士才蔵さんと 相撲の町 掛合

郷土史家 岡田幸夫様

奏され、左右の近衛から出でて来る簗刺と
いう役員が、地上に矢を立て勝ちを明らかにする、これが後の弓取りの始まりです。

これらが、地図上一直線に並ぶのも何かの縁と思われます。

一、相撲発祥の地 出雲と相撲の由来

これが国の相撲發祥は日本書記によれば
大和時代、垂仁天皇七年七月七日
たぎまのくえはや
當麻蹴速と出雲の野見宿禰とで力比べ
のみのすくね
のみのすくね

野見宿禰とは出雲臣の祖であり、出雲

国造の一族で飯南町上赤名に野見野と言う地名がある様にその地を支配してい
た豪族であつた様で、正しくは「奴見、又
ミ」と呼びます。

平安時代の記録には、天平六年「七三四年」聖武天皇の宮中儀式に、相撲節会すまいせつえがありました。

二、才蔵さん出生の地 掛合での少年時代

国造の一旗で飯南町上赤名は野見野とい
う地名がある様にその地を支配してい
に豪族であつた様で、正しくは「奴見、又
ニ」と呼びます。

才蔵さんは今から三六六年前、寛永拾七年「一六四〇年」、当時須所村の一部今のは掛合町西谷、洞泉寺近くで惣右衛門の子としてうまれました。

ゆかりの寺であり 多賀さん直系である

三、松江藩お抱え力士 江戸での才藏さん

このことが江戸大相撲の勧進元へ達し、
松江藩お抱え力士と言う身分になり、

松江藩箕島重太佐衛門の家臣となり、江戸へ赴き三野次八郎佐衛門の弟子に取り立てられました。現在の様な部屋制度は無く、各藩のお抱え力士と言う身分で年間二場所二十日の興業であつたら

度は無く、各藩のお抱え力士と言う身
自分で年間一場所二十日の興業であつたら
しいです。

その頃の川柳は「一年を二十九日で暮らす よい男」と言うのが残っています。

しかし、才蔵さんは、江戸大相撲の取組みよりも藩主の身辺護衛の方が頻繁で、幾度か藩主暗殺の危機を救っています。

富士川の川留め事件、桑名の渡し偽

代官、大井川宿毒饅頭事件、等幾多の暗殺集団から身を賭しての護衛をおこないました。

また松江藩より呼び出しがあり、早駕籠にて七日で帰り、「丸山仁太夫と言う、

大阪相撲の悪党が出雲あたりで暴れているのを抑えよ」との命にて、藩主の目の前で打ち負かし、日本中の話題となりました。その後八郎佐衛門より、「諸国相撲

取りの中で才蔵に勝つ者はいない」と最高の名誉「日ノ下開山日ノ丸ノ締メ込ミ」を与えると言われた矢先、二十六歳の若さで病死してしまいました。（取材の結果では病死ではなく寛文の一大プロジェクトに関する暗殺であったようです）

法名　利強順不退位 寛文五年 乙巳歳 参月 式拾式日 寂

その後数多くの松江藩お抱え力士が

採用されていますが、本人だけでなく子・孫含めた一族迄藩の庇護を受け優遇され、破格の待遇で召し抱えられたのは、才蔵さんだけでした。

江戸へ出てから十年目、松江藩から内密に呼び返しがあり、久しぶりに掛合に帰る途中の梨ヶ峠（今の三刀屋町須所あたり）は、その頃は、かなりの難所でありました。

長旅の疲れと、あと少しで家族みんなの待つ我が家へ着く、と言う安堵から、土手に腰を下ろし、ついうとうとしてしまいました。

かなりの時間が経ち、慌てて立ち上り傍らの小川へ行き、水を手で掬い飲みました。その後ろをつけていた悪党達が流した毒薬を飲み、その場に倒れてしましました。

かくして松江藩より裁許状があり、村中挙げて相撲会場の準備が始まる事になりました。旧掛合保育所あたり、当時宗円寺の寺領の畑を借り上げ、急許相撲場・観覧場・柵席を兼ねた茶店を立てて、箕の年の七月拾参日より五日間盛大に追善相撲興行が行われました。江戸大相撲の一を行は、役付以下五十三人一切の経費は松江藩の勧進元で行われました。

では、道中、生水を絶対口にするな…」ときつく言っていたのに、我が家も近いし、遂気がゆるみ谷川の水を口にしたものと思われる。

四、百回忌追善大相撲と掛合町の成り立ち

松江藩挙げての葬儀を済ませ、立派な自然石の墓碑を建立し、百回忌法要は掛合、専正寺にて地元関係者で行われその後、組内相計り追善大相撲をこの地で催す事を決め、早速郡役所へ差し出す事となります。

かくして松江藩より裁許状があり、村中挙げて相撲会場の準備が始まる事になりました。旧掛合保育所あたり、当時宗円寺の寺領の畑を借り上げ、急許相撲場・観覧場・柵席を兼ねた茶店を立てて、箕の年の七月拾参日より五日間盛大に追善相撲興行が行われました。江戸大相撲の一を行は、役付以下五十三人一切の経費は松江藩の勧進元で行われました。

当地で興業されました。昭和十年代までは毎年七月十三日から始まり、往年の名力士、双葉山、男女川、五つ海、神風、前田山等がまず野見宿禰の墓へ参り出

雲大社外苑で五日間興業がありました。その後で掛合へ越し始めに才蔵さんの墓へ参り、石塔を押すと「向こう倍力」と言

う相手の力が、全部自分に与えられるといつた才蔵さん独特なる技（如意輪觀音信仰の秘術といわれている）を持っていました。といわれ、举つてお参りのあと石塔を押したものでした。

このことにより相撲が盛んに行われ、「掛合町は相撲の町」と言われる由縁です。



才蔵さんの墓石（掛合町 専正寺）

雲南法人会 会報 うんなん 33号
寄稿文を掲載させて頂きました。



6月カレンダー



日	曜	自治振興会関連	教室・サークル	日	曜	自治振興会関連	教室・サークル
1	水		・サンサン教室・さざんかの会 ・さつきコーラス	17	金		・そろばん
2	木		・パソコン教室	18	土		
3	金		・そろばん	19	日		
4	土	・みらいスクール ・地域力向上フォーラム (チェリビアホール)	・さつきコーラス	20	月		・ひばり会 ・そろばん
5	日			21	火		・習字教室
6	月		・ひばり会 ・そろばん	22	水		・手編み教室
7	火		・習字教室	23	木	・地区策定委員会(B)	
8	水		・手編み教室 ・さつきコーラス	24	金		・切り絵同好会 ・そろばん
9	木	・地区策定委員会(B)		25	土	・いきいきサロン	・トールペイント
10	金		・切り絵同好会 ・そろばん	26	日		
11	土	・いきいきサロン	・グラスアート	27	月	・広報紙編集委員会	・そろばん
12	日	・環境美化活動 掛合上・佐中・掛合下一齊草刈	・雲南合唱フェスティバル (さつきコーラス)	28	火		・習字教室
13	月		・そろばん	29	水		
14	火		・習字教室	30	木		
15	水		・サンサン教室 ・さざんかの会				
16	木		・パソコン教室				

※ ■ は休館日です。予定は変更されることがあります

掛合交番からのお知らせ

★相談窓口★

※警察総合相談電話

TEL #9110 又は
0852-31-9110
(24時間)

※悪徳商法110番

TEL 0852-27-4649
(平日8:30~17:15)

※「掛合広域交番」

TEL 0854-62-0110

※「雲南警察署」

TEL 0854-45-9110
(共に24時間)



皆様のご投稿をお待ちしています

新企画として、「おめでとうコーナー」「我が家家のニューフェース」「地区の話題」「掛合の植物」(いずれも仮称)等の募集をいたします。

交流センターまでご連絡頂ければ、広報紙記者が、カメラを持って取材に行きます。

